

「笑顔・自信・絆」のある学校
校訓 自主・心・健康

生徒数
1年生 103名
2年生 103名
3年生 95名
計 301名



風見鶏



瑞穂中だより 「2月号」
令和 4年 2月1日発行

「冬 完熟する 瑞穂中！」

校長 豊田 康人

2月は、如月。まもなく立春、大寒は過ぎたがまだまだ寒い。感染拡大予防対策の強化としての換気、そして寒さ対策として防寒着の着用。矛盾しているようだが、これが新しい現在のスタイル。しっかり身を守り、学びに繋げたい。

さて、寒い季節は野菜がおいしいという話がある。冬野菜の代名詞は、大根、ほうれん草、小松菜、ねぎ、にんじん、きゃべつ、かぶ、春菊、水菜などがある。この野菜の名を聞いて思い浮かべるのは、家庭料理、給食かもしれない。様々な料理の具材として使われている。コンビニでぷかぷか並んでいるおでんを選ぶのも楽しい。冬野菜のうまみの特徴として「甘さ」がある。

では、なぜ冬野菜は甘くなるのだろうか。水は0℃になると凍る。野菜の水分が凍ってしまうと細胞が壊れ、痛みの原因になるという。そこで野菜は、凍結を防ぐために体内(野菜)で糖分を作り、凍りにくい体(野菜)を作っていく。これが「甘さ」の正体。大根の上部が甘くなるのもこの理由から。地表近くは、冷たい外気の影響を受けやすいために糖度が高い。地中深くにある大根の先端部分がやや辛いのは、虫から身(大根)を守るためといわれる。冬野菜、人間でいう「生きる力」を感じる。身を守り、生き抜き「**完熟**」する。

私の人生が一つの転機なったのも大根かもしれない。それは、25歳の時の話。大学卒業後、臨時教員として勤めた職場を退職し、浪人生活を始めた。教員採用試験突破に向けて準備をしていたが、その年も不合格。(相当へこんだ)

そこで、再度挑戦する前に一端、教職から離れることを考えた。気がついたら長野県の信濃川上にある大農家で働いていた。仲間は、10人。毎朝5時に銅鑼(どら)の音で起床。初日は、本当にびっくりした。6時から畑で大根の収穫、昼は畑でおにぎり弁当。休憩は9時と15時。収穫、運搬、洗浄、箱詰め、市場に搬入する毎日。多いときで一日、トラック3台分を搬入した。たまに草むしり丸一日という日もあった。アルプス高原で一心不乱に大根と向き合っていた90日。大根と共にした日々だったが大きな人生の転機となったのは間違いない。当時、この体験談を兄に話をしたら、社会科教師として兄は、生の教材を得るために長野県に向かった(恐るべし行動力)。大根は、寒い冬を自分で防寒し、耐えて、熟成し、市場に出回り、みなさんの口に甘みを届ける。寒い冬だからこそ成し遂げる技。現在、猛威を振るっている新型コロナウイルス。しかし、厳しい環境に備え、春を見据えて、確実に準備を進め、「**完熟**」を目指していく。今の生き方を冬野菜から学んでいるような気がする。

公立受験前、必死になっている3年生。次の学年の自覚が育ってきている1、2年生。「チーム瑞穂」として「**笑顔・自信・絆**」を大切にそしてさらに前に進む。

保護者の皆さま、「**夢へ**」躍進する **瑞穂中！**を御支援、御協力をお願いします。



2月の予定						
月	火	水	木	金	土	日
	1	2 2年生実力テスト	3	4 ⑨2年生講演会	5	6
7	8	9	10 3年生諸活動停止 (～14日まで)	11 建国記念の日	12	13 校内床清掃 (終日立入不可)
14 出願日	15 出願日 3年生期末テスト	16 新入生説明会 3年生期末テスト	17 志願先変更 専門委員会	18 志願先変更	19	20 英検二次
21	22	23 天皇誕生日 諸活動停止 (～27日まで)	24 学力検査	25 実技・面接	26	27
28 12年生期末テスト						

絵本の読み聞かせ実習

1月24.25日の朝読書で、3年生が1・2年生に向けて手作り絵本の読み聞かせ実習を行いました。発達段階を考えながら3か月に渡って製作してきたものです。読み聞かせ後は、後輩とコミュニケーションをとって、人生の先輩として会話を楽しみました。

実習を終えた感想

- ❑最初は教室に入る前からとても緊張していましたが、絵本を読み上げていくごとに、2年生の温かい雰囲気になんか気がつき、最後までやり遂げることができました。相手としっかりコミュニケーションをとること、笑顔で明るく話すことで、一人一人から拍手をもらうことができました。
- ❑自分が時間をたくさんかけた絵本をみんなしっかりと聴いてくれて嬉しかったです。いつも緊張する先生方の気持ちがよく分かり、体感することができました。絵本の文を読みながら聞き手に視線を向けるのが難しかったです。今回の体験は人生の成長において欠かせない体験だと思いました。これからの生活にいかしていき、またいつか誰かに読み聞かせしてみたいです。



わたしの
おススメの
1冊

今月の紹介者 < 箭内 透 先生（美術科） >

『論語と算盤』 洪沢 栄一 著

商売をする上で必要なのが論語であり、論語は万人共通の7実用的教訓。そして、武士には算盤が必要だと述べているのはとても興味深かった。

江戸時代から明治へと社会が大きく変わり、その変化に適応することが求められる時に、大切なことを問いている、と感じた。その考え方は今の日本の社会にも広く浸透していると思うと埼玉の生んだ偉人だと思った。

日本一
読書のまち三郷



瑞穂中の笑顔・自信・絆

1/11(火) 3学期 始業式!!!

校長式辞では、「大地を踏みしめて」のお話がありました(1月の学校だよりを参照下さい)。チーム瑞穂全員で迎えた始業式、**瑞穂の誇りを胸に、人と人とのつながりを大切にする**。改めて、たとえ困難な状況であっても、地に足をつけ、全員で躍進する3学期にしようと決めた式でした。



1/26(金)三郷市安全教育主任会開催

感染拡大防止策を講じ、本校体育館にて安全教育主任会を開催しました。埼玉県立大学の高橋宏至先生を講師としてお迎えし「**これからの学校安全について**」の研修を深めることができました。学校の危険のリスクをいかに軽減するかなど、様々な観点から、現状の生活を踏まえ、安全教育が進んでいくと思います。市の安全部長の佐藤先生、お疲れ様でした。



1/7(金)初雪と雪かき



三郷市では久しぶりの大雪に見舞われました。教職員一同、始業式に向けて雪かきを行いました。当日生徒に怪我等が無かった事が幸いでした。



1/17、18(月、火) 手作り絵本の読み聞かせ実習

3年生が家庭科の授業で制作した手作り絵本で、1・2年生に向けた読み聞かせを行いました。3年生は、一人の大人として後輩の前に立つと、いつも一緒に過ごしているにも関わらず「緊張する!」と、当日を迎えていました。1・2年生も先輩が作った絵本に興味津々で、読み聞かせを熱心に聞いており、読み聞かせ後には「どれぐらい時間がかかったのですか?」と質問するなど、**生徒同士の心温まる交流**となりました。感染症予防の為に、3年1組は後日実施予定です。



本校の教育活動は、ホームページでも御覧いただけます。(http://www.edu.city.misato.saitama.jp/mizuhochu/)